

山梨県上野原市(第3回)・山梨県笛吹市(第4回)・山梨県甲府市(第5回)

上野原市
(第3回)



笛吹市
(第4回)



甲府市
(第5回)



山梨県では第3回(上野原市)、第4回(笛吹市)、第5回(甲府市)の女性版ふるさと対話集会が開催されました。第3回、第4回は地元を選挙区とする堀内詔子支部長(山梨県第二選挙区支部)、上川陽子女性活躍推進本部長、高階恵美子女性局長が参加しました。

上野原市では、「子宮頸がんワクチンの後遺症による被害者が山梨に3人いる。病院の診察対応が不十分なので、徹底してもらいたい」「道路が狭くて安心して買い物に行けない。まちづくり推進委員会に所属して話し

ているが、道路整備が進まない」「母子家庭での厳しい現状や、貧困の連鎖の問題をきちんと対応してもらいたい」などの問題が指摘されました。

笛吹市では、「言語聴覚士による訓練を受けられるのが未就学児までが対象で、小学校からは受けられなくなってしまうのはおかしい」「訪問診療をする小児科医が少ない。子供が呼吸器をつけて通院するのはかなり負担がかかる」「訪問看護は高齢化が進んでいる。30代の看護師が病院にいない現状をなんとかしなければ」など福祉や医療関係の意見がありました。

第5回の甲府市では、宮川典子支部長(山梨県第一選挙区支部)が主催。「山梨はどうしても男性主導で、自治会長は男性ばかり。もっと女性がなってもいいはず」「20〜30代の若者を地元に残すためにはどうしたらよいか」などについて議論しました。